



ジャズとR&Bの本場で
磨きあげたグループに
大和魂を込めた
白熱のドラミング!

KENJI KATO BAND LIVE IN TOKYO



加藤健治はカリフォルニア在住のスタジオドラマー、ドラム講師。ゲイリー・バートンの推薦を受け、米国バークリー音楽大学に入学。在学中よりライブレコーディング活動始める。89年同大学を卒業後、日本での活動後、再び渡米、ニューヨークを中心にライブ、レコーディング、ドラム講師として活動。08年カリフォルニアに移住、14年には2回のグラミー賞受賞者マールハガードのレコーディングに参加。
マールハガードと共演した唯一の東洋人となった。

2023.6.19 月曜

Open 18:00 / Start 19:00

全席自由
前売

¥4,500

当日

¥5,000

*価格は税込みです。

あびる竜太(piano)

高校卒業後、アメリカ ポストンのバークリー音楽大学に入学。卒業後、ジャズやラテン音楽を基盤に、ライブ、コンサート、スタジオワーク等で活動。様々なコンボでの活動の他に今まで、岸義和(tp)ビックバンド、稲垣貴庸(ds)ビックバンドなどに在籍し、ビックバンドプレイヤーとして、また、岸のりこ(vo)、山岡末樹(vo)、前川陽子(vo)など、歌手のサポートプレイヤーとしての評価も高く、寺井尚子(vil)、チャリット(vo)、ジョー・パターン(vo)、カリストオビエド(per)、ジョバンニ・イダルゴ(per)などの、国内外のアーティストとの共演歴も豊富。現在まで6枚のリーダーCDを発表し、アルバムがジャズデスク大賞にノミネート、雑誌 男の隠れ家2012の特集<音楽の専門家が進める 必聴 必見のライブ盤ジャズディスク34枚>にも選ばれる。現在は自身のグループでの活動の他に、NORA(vo)のソロユニットなどにも参加。

仲石裕介(ベース)

大阪出身。大森成彦氏の演奏に感銘を受けコントラバスを始める。ユニバーサルスタジオジャパン、関西のホテル、バー、ラウンジで演奏活動を始め、その後上京。上京後、都内を中心にLiveやレコーディングに参加。北島直樹氏、田辺光邦氏、向井滋春氏のグループ等で活動。前田憲男氏、弘田三枝子氏、井上順氏、レコーディングに参加、宇崎竜童氏、雪村いづみ氏等と共演。レコーディング参加作品が東京オリンピック閉会式に使用される。2020年より、寺井尚子氏のカルテットに参加。coba氏、中鉢聡氏、藤澤ノリマサ氏、加藤登紀子氏と共演。森口博子氏カバーアルバム2作品に参加。

ライブに関するお問い合わせ・ご予約は

GINZA Lounge ZERO TEL:03-6274-6631

〒104-0061 東京都中央区銀座7-5-4 毛利ビル7階 <http://ginza-zero.jp/>

GINZA
Lounge ZERO